

2013 年度下半期学生海外発表奨励金 成果報告書

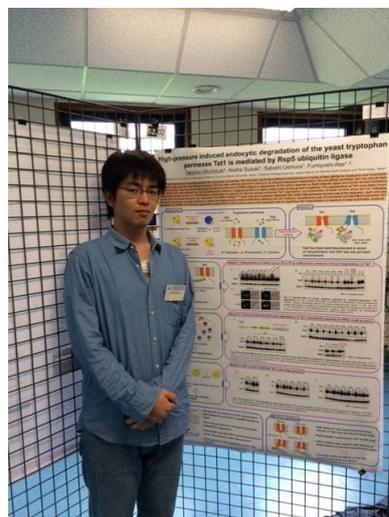
氏名 : 望月 貴博
所属 : 青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 博士後期課程 2 年
会議名称 : 8th International Conference on High Pressure Bioscience and
Biotechnology 2014 (HPBB2014)
開催場所 : ナント(フランス)
開催期間 : 2014 年 7 月 15 日～7 月 18 日
講演題目 : High-pressure induced endocytic degradation of the yeast tryptophan
permease Tat1 is mediated by Rsp5 ubiquitin ligase

[出席目的]

HPBB2014 に出席し、自身の研究を多くの研究者に知ってもらい、さらに世界で活躍している研究者と議論や意見交換を通して自身の研究を発展させるとともに、自身の研究に対する視野を広げる。

[成果概要]

8th International Conference on High Pressure Bioscience and Biotechnology 2014 (HPBB2014) が 2014 年 7 月 15 日から 18 日にかけてフランスのナントにある Nantes Atlantic National College of Veterinary Medicine, Food Science and Engineering (ONIRIS) にて開催されました。本会議は 2 年に 1 度開催されており、日本と欧州の国を中心として 110 名の研究者が参加しました。セッションは 1. High pressure effects on biological molecules, 2. High pressure effects on organisms, 3. High pressure food processing, 4. High pressure to ensure the safety of food and experimental systems, 5. Analytical HP technologies の 5 つのセッションにわかれており、oral 50 件、ポスター 50 件の発表が行なわれました。特にセッション 3 は、oral とポスターの両方で全体の約半分を占める発表が行なわれ、様々な分野の研究者らによるディスカッションがなされていました。普段ではあまりふれない分野の発表を聞くことができ、研究に対する視野が少し広げられたように感じました。



今回私は学会 2 日目のポスターセッションにて、圧力による酵母トリプトファン輸送体 Tat1 のユビキチン化依存性分解について発表を行いました。酵母は Tat1 というトリプトファン輸送体を細胞膜上に発現しています。この Tat1 は常圧下で非常に安定なタンパク質で半減期が 6 時間程度ですが、酵母細胞を 25 MPa で培養すると 3 時間以内に速やかに分解されること、そしてこの分解に不可欠な要素についてポスター発表を行いました。私の発表はセッション 2 に分類されていたのですが、このセッションは学会全体で見ても発表数が少ないセッションとなっていました。そのため、この分野に特に興味を持っている方々が発表を聞いてくださり、議論を交わすことで多くの意見を頂くことができました。またポスターセッションは 1 時間と短い時間だったため、コーヒブレイクの時間を利用してポスター発表を行なうことでさらに議論を交わすことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回の国際学会での oral の発表やポスター発表を通じて、私自身の知識や英語で話す力の不足を身にしみて感じました。研究に対する知識を蓄えること、研究を英語で伝えることや相手の考えを理解することができるように、より一層の努力をしたいと思います。最後になりますが、高圧力学会より学生海外発表奨励金をいただき、国際舞台でこのような貴重な経験をさせていただけたことに心より感謝申し上げます。